



Amazon EC2への移行

VMware workloads

NetApp
January 13, 2026

目次

Amazon EC2への移行	1
VMware Workloads Migration Advisorを使用してAmazon EC2の導入計画を作成	1
オンプレミスのvSphere環境を基に導入計画を作成	1
推奨されるFSx for ONTAPファイルシステムを導入	3

Amazon EC2への移行

VMware Workloads Migration Advisorを使用してAmazon EC2の導入計画を作成

VMware 移行アドバイザーにアクセスするには、 NetApp Workload Factory にログインします。 ウィザードの手順に従って、ニーズに合わせてカスタマイズされた展開計画または移行計画を作成します。

Workload Factory にアクセスするには、ユーザー名とパスワードが必要であることに注意してください。 アクセス権がない場合は、今すぐアカウントを作成してください。 説明書をご覧ください "[ここをクリック](#)"。

オンプレミスのvSphere環境を基に導入計画を作成

オンプレミスのvSphere環境の現在の仮想マシン構成をAmazon EC2の仮想マシンに移行し、カスタマイズしたAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムを外部データストアとして使用できます。

要件

- あなたには"[VMインベントリをアップロードしました](#)"。

手順

- 次のいずれかを使用してWorkload Factoryにログインします。 "[コンソールエクスペリエンス](#)"。
- メニューを選択  次に*VMware*を選択します。
プランニングセンターが表示されます。
- VMインベントリをまだアップロードしていない場合は、「VMインベントリをアップロード」を選択し、"[VMインベントリデータをアップロードする](#)"。
- リストから VM インベントリ データセットを選択し、データセットの 計画の開始 メニューを開きます。
- *AWS ネイティブコンピューティング*を選択します。

[Prepare for AWS Cloud Onboarding]*ページが表示されます。

- [*VM configuration upload*]セクションで、 RVToolsによって作成された.xlsxファイルを選択します。

「データ収集の詳細」セクションには、Onboarding Advisorデータコレクタを使用して収集されたデータの日付範囲と時間数が表示されます。

インベントリファイルの*[VM inventory summary]*セクションに、VMの数と合計ストレージ容量が入力されます。

- [VMインベントリの考慮事項]セクションで、移行するVMのリストをフィルタリングするオプションを選択します。
 - リージョン：Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムを導入するリージョンを選択します。 最適なパフォーマンスとコスト効率を実現するには、通常、既存のAmazon EC2 SDDCが導入されているリージョンと同じリージョンを使用します。

- b. このリージョンのVMの予測パフォーマンスレベルを選択します。最初は小さいIOPS設定から始めるこことを推奨します。ワークロードの移行または導入時にファイルシステムを作成したあとに、プロビジョニングされたSSDのIOPSを増やすことができます。
- 標準から高パフォーマンス：平均I/O速度が20~5000 IOPSのVMの場合。
 - 非常に高いパフォーマンス：VMの平均I/O速度が5,000 IOPSを超える場合。
 - パフォーマンスが非常に低い：平均I/O速度が20 IOPS未満のVMの場合。
8. [Target capacity and protection considerations]セクションで、ストレージオプションをいくつか選択します。
- a. 考慮するVMストレージ：オンボードされた各VM用に作成されたデータストアのサイズを、現在使用されているサイズ（推奨）またはプロビジョニングされたサイズのどちらに基づいて設定するかを選択します。
- 外部データストアは、Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムボリュームを使用して実装されます。
- b. 平均データ削減比率：3つの一般的なデータ削減比率から選択します。「1:1 - 削減なし」、「1:1.25 - 20%削減」、または「1:1.5 - 33%削減」を選択します。
- どちらの比率を選択するかわからない場合は、*[決定を手伝ってください]*を選択します。Data reduction ratio assistant dialogが表示されます。VMインベントリとストレージ環境に該当する文を選択してください。アシスタントは適切なデータ削減率を推奨します。推奨比率を使用するには、*適用*を選択します。
- c. ヘッドルームパーセンテージ：FSx for ONTAPファイルシステムの容量に追加される容量増加率を入力します。
- 20%未満の容量を選択すると、保護および長期的なバックアップのためにボリュームSnapshotを作成することはできません。
- d. * VMスナップショット保護*：スナップショットでVMを保護する場合は、このオプションを有効にします。
9. 「* 次へ *」を選択します。
10. [Scope]*ページで、AWS移行に含めるVMをリストから選択します。各VMの電源状態、およびVMが配置されているデータセンターとクラスタでリストをフィルタリングできます。
- VMリストでは、列として表示するVM情報のタイプを選択できます。たとえば、[Estimated instance type]を選択すると、VMのリソース要件に基づいて、各VMの推定Amazon EC2インスタンスタイプを示す列が表示されます。
11. 「* 次へ *」を選択します。
12. [分類]ページで、VM情報、ボリューム分類ルール、ボリュームの割り当て、導入時にマイグレーションするボリュームのリストを確認し、*[次へ]*を選択します。



特定のリージョンのAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムの容量を超える容量やパフォーマンスの要件がボリュームにある場合、移行アドバイザはそのボリュームをAmazon EBSファイルシステムに導入することを推奨します。

13. [パッケージ]ページで、EC2インスタンスと異なるFSx for ONTAPクラスタに割り当てられているボリュームを確認し、*[次へ]*を選択します。

14. [Review plan (計画の確認)] ページで、移行を計画しているすべての VM の予測される月単位の削減量とコストの見積もりを確認します。

ページの上部には、FSx for ONTAP ファイルシステムと EBS ボリュームの月間削減量が試算されています。各セクションを展開すると、推奨されるファイルシステム構成、予想される削減量の内訳、前提条件、技術的な免責事項の詳細を確認できます。

デフォルトでは、移行計画は計画センターの計画リストに自動的に保存されます。

移行計画に満足したら、次のような選択肢があります。

- プランのダウンロード > レポートのダウンロード を選択して、展開プランを .pdf 形式でダウンロードし、レビュー用に配布できるようにします。
- プランのダウンロード > インスタンス ストレージ デプロイメントのダウンロード を選択して、外部データストア デプロイメント プランを .csv 形式でダウンロードし、新しいクラウドベースのインテリジェント データ インフラストラクチャの作成に使用できるようにします。
- 推奨される Amazon FSx for NetApp ONTAP ファイルシステムのデプロイを開始するには、[プロビジョニング] を選択します。

推奨される FSx for ONTAP ファイルシステムを導入

推奨される FSx for ONTAP ファイルシステム (場合によっては複数のファイルシステム) が要件を正確に満たしていることを確認したら、Workload Factory を使用して AWS 環境にシステムをデプロイできます。

以下の指示に従ってください "[NetApp Workload Factory で FSx for ONTAP ファイルシステムを作成する](#)" Workload Factory が推奨する構成に従って FSx for ONTAP ファイルシステムを展開します。手順の*高度な作成*手順を使用して、ファイル システムを完全にカスタマイズできます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。